

小論文試験

令和2年10月30日

受験番号		氏名	
------	--	----	--

以下の文章を読み、問に答えよ。

AIの利用は、業務の効率化や新たな商品・ビジネスモデルの開発につながることが期待されている。また、人間を煩雑な業務から解放し、人間ならではの創造的な業務に集中することを可能とすることによるイノベーション創出効果も考えられる。

いくつかの調査機関において、AIによる生産性の向上効果等についての分析が行われている。例えば、アクセンチュアによる分析では、日本では2035年に労働生産性がベースライン比で34%向上するとしている。また、マッキンゼーによる分析では、売上高の上昇率という観点から産業別のAIによるポテンシャルを算出している。その結果、「旅行」分野が最も高く、年間で売上高を7.2%~11.6%上昇させるとしている。そして、AIが大きな影響を及ぼす他の産業として、「ハイテク（ソフトウェア、オンライン、ハードウェアメーカー等）」「保険」「メディア・エンターテインメント」「運送・物流」「通信」「医薬品」等が挙げられている。

（出所 総務省令和元年版情報通信白書）

問 流通分野において有効と考えられるAIの活用方法について、例を挙げながらそれによって解決される課題と逆に憂慮される問題点を交えて説明せよ（800文字以内）。